

優先順位	改善項目№		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(H18年 5月 1日現在)
	自己	外部				
	85	49	緊急時の応急処置、職員が全員できるようにする。	怪我、骨折、のど詰めなどの対応は定期的な勉強会を行い、救命講習なども個人や全体会で受講する。	定期的	マニュアルを職員全員が把握できている。今後も勉強会や救命講習なども継続して実施していきたい。H18年5月19日勉強会開催予定
	27	22	利用者一人一人を尊重する。	出来ていない職員は個々に注意指導を行い又、職員同士が注意し合う又、定期的に勉強会を行い人間としての尊厳の学習をしていく。	随時	勉強会、職員同士の声掛けなどにより職員一人一人が自覚を持ってきた。
	28	23	職員が常に利用者に対し穏やかに接する。	出来ていない時は職員同士が声を掛け合い又、職員個々の面接やユニット会、及び個々の自己評価をしてもらい(136項目)自分自身の自覚確認をしてもらう。自己評価は2回/年実施	随時	勉強会や職員同士の点検などで利用者の気持ちが変わるようになった。
	32	25	利用者に合わせた介護を行う。	食事、入浴、散歩など一人一人のペースでしてもらい、時間帯なども利用者に合わせゆとりをもって接する。	随時	散歩、入浴など個々の希望する時間で対応していく。
	50	35	排泄時の不安や羞恥心などへの配慮を行う。	トイレの声掛け誘導時などはさりげなくする。男性トイレは、カーテンを取り付け必要に応じて開閉を行う。	随時	男性トイレにはカーテンを取り付ける。又職員一人一人がトイレ排泄の恥ずかしさを理解し、さりげなく行えるようになった。
	57	38	整容の乱れ、汚れなどに対しプライドを大切にさりげなくケアを行う。	自分で整容が出来ない方は声掛けを行い汚れたときはその都度行う。又、食後やその他のことで汚れた服などはこまめに更衣を促し、自尊心を傷つけないようケアにあたる。	随時	職員全員で取り組んでいる。
	14	11	音の大きさや光に対する配慮	耳の遠い方は必要であれば補聴器などを使用してもらい、食事中はなるべくテレビなどを消し楽しい雰囲気を作り楽しい食事時間を作る。又天気の良い日などは、リビングだけでなく廊下の電気などもつけ出入口の掲示物などを見やすくする。	随時	耳の遠い方は家族と相談をし耳鼻科受診をしてもらい対応した。本人、家族、職員でテレビの音について話し合い解決した。又、職員が努めて楽しい雰囲気作りを心がけている。室内の明るさはこまめに電気などにより対応することにより対応できるようになった。又、太陽の光は高齢者の方特に白内障の方にはまぶしかったりする為個々の状態に応じ座る位置及びカーテンなどで対応している。
	35	27	一人一人出来ることへの配慮を怠らない。	自立的にされている時は口出しせず十分な見守りにより任せ行動を抑制しない。	随時	見守り、介助により出来ることはどんな些細なことでもしていただく。そして、必ず職員がありがとうございます。と伝える。又出来たことに当たり前でなく評価することを行う。
	131	70	地域の人との交流の促進	色々な行事に地域の方に参加していただいているがもっと気軽に立ち寄れることが出来る場所を作っていく。		広報、その他で地域の人呼びかけている。利用者と職員も出来るだけ地域の行事、会合などに参加する。